

人口動態

(3月1日現在)

世帯数 24,841 (+ 5)
総人口 102,258 (+ 86)
男 48,415 (+ 82)
女 53,843 (+ 4)
出生 175件 死亡 53件
転入 315 転出 351
婚姻 140 離婚 21

会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

242号

昭和42年4月15日発行

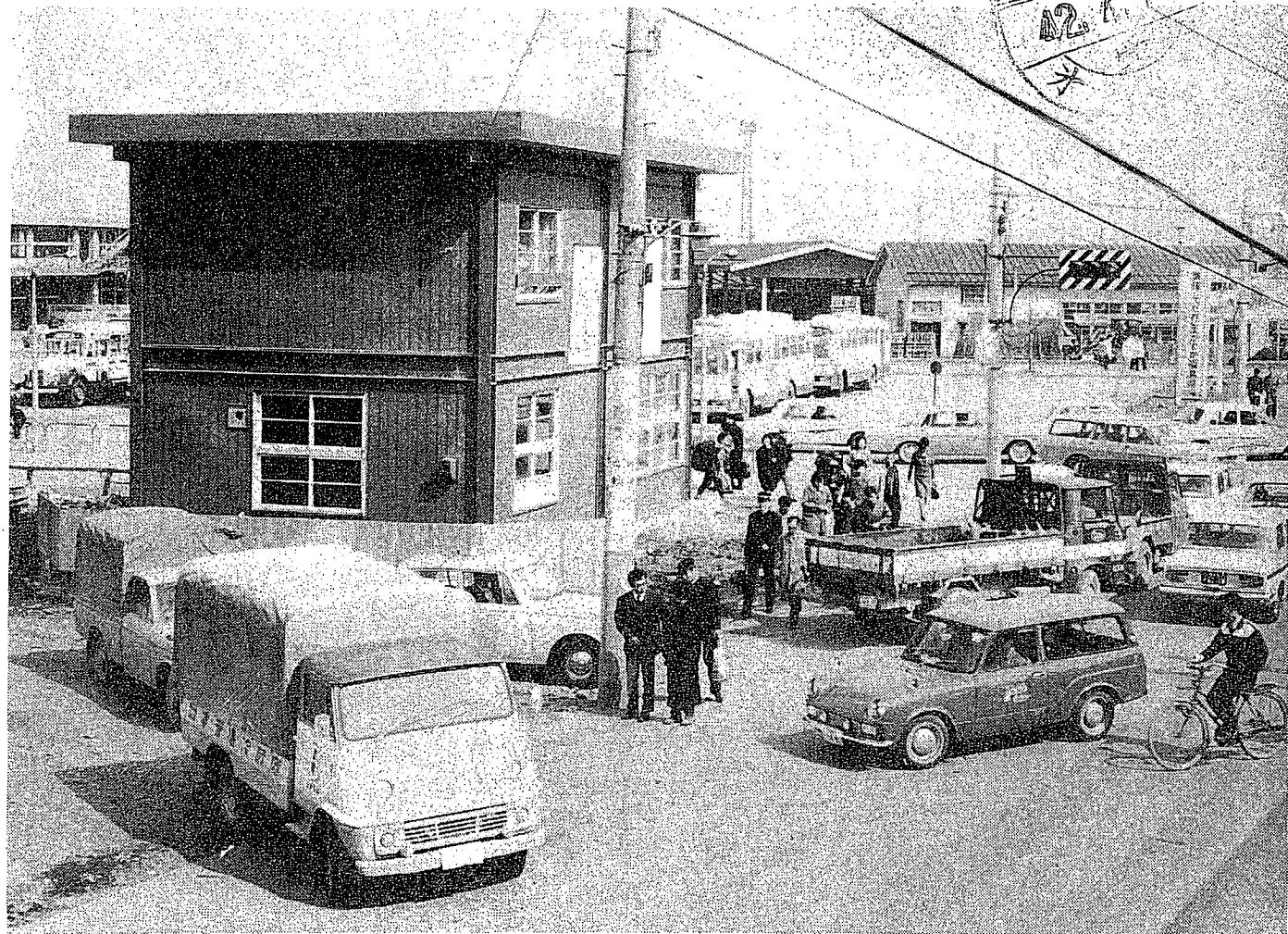
発行所 会津若松市

発行人 竹田正夫

編集広報係

定価 5円

月刊
毎月15日発行



とじて保存しましよう

駅前交番が完成

観光会津の玄関口を守る会津若松駅前交番がこのほど完成、四月下旬から東北一のマンモス交番としてスタートする。

新設された交番は、駅前広場の南側、大町通りに面して建てられ二階建てで、建面面積は約百平方メートル。これまでの駅前・大町・蚕養の三派出所と町北駐在所を廃止統合し、市の駅前広場整備事業計画にあわせて一本化するため人の警察官が交替で常勤するほか、パトカー・や白バイも配置される。今後は、駅方面の防犯や観光客へのサービス面で大きな効果が期待される。

広

報

板

18日	午後6時	文芸春秋文化講演会・市民会館
	午後7時	青年学級開講式・公民館
19日～23日	午前9時	会津新生会展・公民館
21日	午後1時	明治戊辰百年祭宣言式・市民会館前広場
22日～24日		会津さくらまつり
22日・23日		内職品展示会・公民館
23日	0時15分	NHKのど自慢全国放送・市民会館
27日	午前10時	文化財調査委員会議・公民館
29日		天皇誕生日

そのゴミを
拾ったその手が
美しい

※清掃の日 4月22日（昭和29年に清掃法が制定された日です。）

環境衛生週間 4月17～23日

紙くず、チュインガムなどは、ごみ容器に、たばこの吸いがらは吸いがら入れに、また、川にはごみを捨てないようにしましょう。

1年分の
軽自動車税を減免

体の不自由な方に対して

手続きは4月18日までに
市税政課庶務係へ

駅前整備計画

審議会の答申提出をもる

市では会津若松市駅前整備審議会（本間勝義会長）に対し、駅前市有地の効率的利用、整備について計画案をしめし、意見（諮問）をもとめていましたが、このほど、これで、いよいよ市民待望の駅前整備、観光ターミナル建設などの実現に一步前進したわけで、観光シーズンふた開けにふさわしいニュースとして話題をもいています。

まず設立準備会の発足を

駅前整備、観光ターミナル建設計画は、商業活動の活性化、観光会津の表玄関であるといふ条件、あるいは大町土地区画整理事業に関連する都市近代化への重きを急ぎ、昨年七月、同審議会に計画案を提出しま

した。

計画案は会津若松市の都

市形成上、駅前は拠点的な

地域になることを予測し、

交通、商業活動、観光客の

利便などを考慮、基本構想

を配すなど効率的な土地

利用を行なっています。

話題の観光ターミナルは

観光客の便をかるための

各種案内所などを設け、ま

た、観光客、一般通勤客ら

対象の名店街、大食堂、喫茶店を併するショッピングセンタとしての機能も加味するものとなっています。

こうした計画、立案までは、会津若松駅の旅客乗降調査や、自動車の流动状況さらに通過客、旅客の流动指向にいたるまで、基本的な調査を行なってきました。この計画案に対し、このほど同審議会は明確な答申をしめしました。とくに観光ターミナル建設について

は駅前整備の重要なポイントとなることから早期実現をはかるよう要望し、その方法として、推進母体となる設立準備会を早急に発足させ、具体的な設計や、ターミナル運営の問題を検討するよう意見をのべています。

また、経済構造の進歩、

发展に、よい交通問題は

発展に、よい交通問題は

</



◆富士通会津工場が起工

観光都市にふさわしい騒音と煤煙のない工場として市が誘致した富士通会津工場の地鎮祭が4月9日午後2時、競馬場跡で挙行。同工場は電話などに使われる音響機器などの組み立てを9月から開始の予定。



▼交通指導員の辞令を交付

本市初の交通指導員条例にもとづく指導員の辞令が、4月10日午前10時公民館で、材木町の成田善吉さんら26名に市長から手渡されました。



河川管理に協力を

北陸地方建設局阿賀川工事事務所では、最近、あいかわらず河川区域内の不法占用や無断耕作、竹木の植込み、ごみ捨てなどが非常に多く、河川管理に大変困難なところがあるので、今後はこのようないることのないよう、河川沿いに住む方はもちろん、市民みんなが注意するよう呼びかけています。

なお、市内で問題となっているのは次のとおりです。

大川、新湯川（神指地区）旧湯川（旧市内）、不動川（一箕地区）、せせなぎ川（高野地区）、古川（門田地区）、原川（湊地区）

青少年非行の多くには有害な出版物などが大なりとなり影響しています。特に最近増えている青少年の性犯罪の原因として有害出版物などからの影響があげられます。

これら有害出版物などはおとなが旅行や外出の時に家庭や職場などに持ち込みまたは家庭のごみ箱の上に補導した非行少年などは千五百四人もあり、年々増加の傾向にあります。

